（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	コラゾン泉中央			
○保護者評価実施期間	令和6年9月1日	～	令和6年9月30日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	76	（回答者数）	52
○従業者評価実施期間	令和6年9月1日	～	令和6年9月30日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	5	（回答者数）	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年10月13日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎日の活動プログラムが固定化されないようにチームで立案し、利用する児童に合わせた活動を提供していること。	・活動プログラムのメインの部分はスタッフの方で決めながらも、利用する児童の意見も聞きながら活動プログラムを柔軟に変更する。 ・普段の会話の中から興味のあることなどを聞き、活動内容に盛り込む。 ・学校体育の余裕や復習をしている。	・活動の中で生まれる課題に対して、運動だけを通じてでは無く、もっと分かりやすい方法でサポートをする。
2	送迎時に保護者様との情報共有を丁寧にしている。	・活動を通じての「困った」に気づくことで、それを保護者様にお伝えし、認識にズレが出ないようにする。 ・当日の活動内容をお伝えし、その中でどういった行動ができたのか、どういった部分が難しかったのかを共有する。	・こちらからの情報発信だけでなく家庭や学校など見えていない場所の情報を学校や家庭に共有してもらい、さらに事業所 としてできる幅を広げていく。
3	祝日や第5週目の土日についてはイベントを提供している。	・「普段なかなかできない経験」をテーマに、県外に出たり、宿泊イベントを提供している。 ・公共交通機関を使用したりしながら、事業所を卒業したあとにも活かすことのできる経験を積んでもらう。	・より保護者様や子どもたちのニーズを把握することで経験の幅を広げていく。 ・

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様同士の交流の場がないこと。	・見学をする機会が少なくなったことで保護者様同士が集まる機会が減った。	・保護者様が見学できる日程を準備することで、保護者様同士が集めれる場をまずは作る。
2	曜日によっては活動スペースが多少狭いと感じる。	・高学年や中高生の多い日については、身体も大きくなってきていることでスタジオが狭く、１人あたりの動けるスペースが小さくなっている。	・近隣の公園を使うことや、活動内容を工夫することで改善に取り組む。 ・荒天時には市民センター等も活用していく。
3	事業所を卒業後の運動をする機会を提供できていない。	・スタッフの入れ替わり等もある中で卒業後のフォローまでできていない。 ・体格差がある中で、現利用者と一緒に活動をさせていいのか判断に迷う。	・卒業後のフォローもしていく中で繋がりを継続し、できる支援については引き続きのサポートをしていく。 「ob会・og会」など年間のスケジュールに組み込んでいく。

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	コラソン泉中央

公表日 令和6年10月21日

利用児童数 76名　回収数 52名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	50	2	0	0	・スタジオの広さはやや狭いと感じます	スタジオを変える予定はない為、公園や体育館なども使用していく
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	47	5	0	0	・曜日の子どものタイプによってはもう1人先生がいたらいいと思う(児発) ・先生の配置数が少なくなり、子どもへの対応で活動がストップすることがある。事業所の都合もあるので理解はしている。(児発) ・現状でも大丈夫ですが以前にもっと先生が多かった時も良かったので…(児発) ・手厚く対応いただいています ・車での送迎の際、先生１人で面倒を見きれない人数の子供が乗っていると感じたことがある。(低学年、多動児)	・レッスンも送迎もスタッフのスキルをあげていく。 ・状況によっては送迎ルートの変更するなどの対応をしていく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	37	14	0	1	・階段があるのでバリアフリーではないと感じています	バギーや車いすの利用者がいない為
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	49	3	0	0		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	51	1	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	51	0	0	1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	51	1	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	48	3	0	1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	49	1	0	2		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	52	0	0	0	・いつも様々なプログラムを工夫して提供してくださっていてありがたいです	・よりタメになるプログラムを考えて提供していく。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	20	18	0	・交流の機会は今までないです	・これまで交流の機会を希望しないといった意見もあったが、希望する方が多いのかの把握をしながら検討していく。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	51	1	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	48	3	0	1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	14	18	3		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	51	1	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	35	15	2	0	・面談は今までありませんが、いつも送迎時に様子を細やかに教えていただいています	・支援計画等以外での面談ができていない部分もあるので見直しをしていく。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	52	0	0	0	・素晴らしい先生方です	・より精進していきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11	19	18	4	・不登校のことを他の保護者と話してみたい ・保護者向けイベントなどがもしあるなら、参加してみたいです	・現状の把握ができていない為、まず保護者様に聞き取りをおこない、その内容に合わせて次の対応を考えていく。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	43	18	0	1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	50	2	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	51	0	0	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	51	0	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	46	6	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	50	2	0	0		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	48	3	1	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	44	7	0	1		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	52	0	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	48	4	0	0	・カレンダーに自分で通所日を記入し利用をとても楽しみにしている様子です ・ハードなようで疲れを訴え、休憩が欲しいと弱音を吐くことが多々あります	・子どもたちの表情をより読み解きながらアプローチをしていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	51	1	0	0	・長く利用させて頂いています。なかなか手応えのない娘ですが様々なアプローチで支援して頂き大変満足しています。 ・満足しています。18歳以上になった時就労ではない、身体や心のより良い状態を維持するために、コラソンのような事業所があると良いのではと思います。 制度の仕組みとしては難しいと思いますが、成人向けのサービスや、コラソン卒業後のおすすめな機関があればお聞きしたいです。	・検討していく。

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	コラソン宗中央

公表日　　6年　　10月　21日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	・大きい子が多い日は公園等で活動している。 ・公園や体育館で活動している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0		・特性によっては感情が高ぶり、気持ちの切り替えに時間がかかる子 にはスタッフがついて対応しないといけない為、レッスンが中断して他の子を待たせてしまうことがあるが受け入れ数にとってスタッフ数
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	5	0	・毎日の掃除と活動に合わせて室内だけでなく、公園で活動することもがある。	・当日の活動に必要な道具とそうでない道具を分けておく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	・状況に合わせて部屋を移動できるようになっている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0		
	7	保護者向け評価票により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・自己評価をもとにスタジオで話し合いの場を設けている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・研修等をおこなっている。	
適切な支援の提供	11	個別に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	3		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	・送迎時等に保護者様と意見交換をして支援計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	5	0	・気になっていること等都度共有するようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等によって確認しているか。	5	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容を踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、そのうえで、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	・年間目標と月の目標を設定している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	・毎日スタッフ同士の意見をもとに活動プログラムを作成している。 ・毎日プログラムを出勤スタッフで決めている。 ・毎日みんなで話し合ってプログラムを決めている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	・個別の活動は今年度からおこなっていないが、利用者に合わせて少人数グループでのレッスンをおこなっている。 ・月の目標をもとに子どもたちも飽きぬよう様々なメニューを考えている。保護者様の要望があった際は個別指導を実地している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか 。	5	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	・毎日日報を書き、その記録を見て次の活動を考えることがある	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	・日報を取り保護者様にも共有している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を学ぶ力を育てるための支援を行っているか。	5	0	・活動の中にリクエスト運動をおこなう機会がある	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所やサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	・できるだけ担当者会議などには参加するようにしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		・体制は整っているが連携は取れていない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	2	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	5	・直接関わる機会は作っていないが、公共の公園や施設等を利用する際は地域の方への配慮やマナーを子どもたちに伝えている。	
	33	（自立支援）協議会等へ継続的に参加しているか。	0	5	・参加していない。 ・研修等は参加していないが機会があれば参加したい。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・申し送りの際に情報共有をし、様子や要望などを聞いて支援に生かしている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	・研修等はおこなっていないが、日々の活動のフィードバックをする際に、そのお子様にとって効果的だった支援方法などについてお互いに共有している ・研修等の情報は提供していないが、ご家庭の様子などはレッスンの度に聞き取っている。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	5	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	・悩みを相談された時は分からないことは調べたり聞いたりしながら支援している。	
	40	父母会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5		・保護者会等はおこなっていない。 ・今年度は保護者様や兄弟を交えたイベント交流などはしていない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	・システムを使用してイベントなどの情報発信をしている ・HUGの掲示板に記載しているが見ていない保護者が多い。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5		・おこなっていない。 ・招待などしていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	・保護者様への周知や様々な状況を想定して訓練をおこなっている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	・食べ物等を食べたりするときはアレルギーの確認を事前におこなっている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	・事前に安定することはスタッフ間で確認をとっている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との適切な関係が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	4	1	・家族等への周知はしていなかった。 ・災害が起きた時の避難経路等は一緒に訓練し周知してる。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	・会社内でも共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0		